

JA つがる弘前が Platio を採用！りんごの在庫管理業務のアプリ化で DX を実現
7拠点の貯蔵庫の在庫数をスマホでリアルタイムに共有し脱FAX&脱ペーパー
～ 年間 500 時間の工数削減と記録や転記時の人的ミスを撲滅 ～

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード:3853、以下アステリア）は、ノーコード*のモバイルアプリ作成ツール「Platio（プラティオ）」が、つがる弘前農業協同組合（本店：青森県弘前市、以下JA つがる弘前）に導入され、りんごの在庫管理業務のDXを実現したことを発表します。

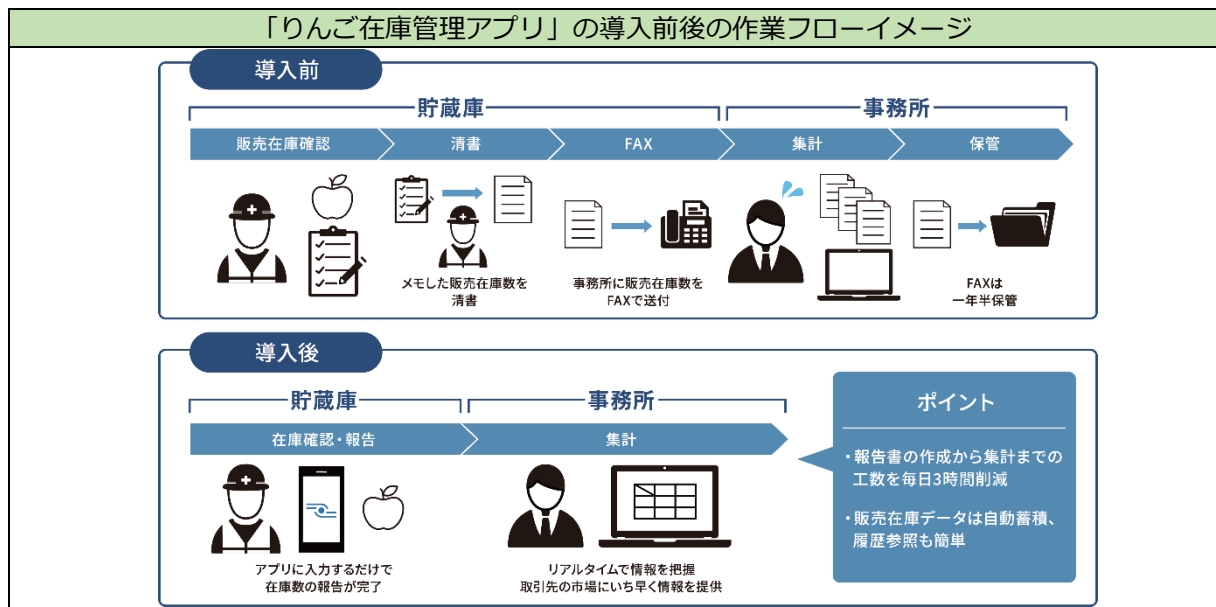
■JA つがる弘前が「Platio」を導入した背景と効果

青森県弘前市に本店を構えるJA つがる弘前では、組合員が生産するりんごを中心に年間約5万トンの農作物を販売。取り扱う果物・野菜・穀物等の保管（品質管理）、包装や等級の選別など、出荷されるまでの在庫管理業務も行っています。

JA つがる弘前が運営する7拠点の貯蔵庫では、毎日在庫数を紙に記録し、その情報を清書した報告書をJA つがる弘前の事務所にFAXで提出していました。しかし、紙によるアナログな管理手法であったことから、人為的な記録・転記ミスや集計までのタイムラグの発生、報告書の保管スペース確保などが課題になっていました。

そこで、アナログな在庫管理業務の革新を図る上でモバイルアプリの導入を検討し、短期間でアプリの作成から運用までをノーコードで実現するPlatioの採用を決定。まずは、りんごの在庫管理での利用をスタートし、導入から2か月で保有在庫の品種・等級・数量など従来の運用と同じ内容を記録・報告できる「りんご在庫管理アプリ」の本格運用を開始しました。

これにより、紙による報告書の運用やFAXでの連絡などのアナログ業務を撤廃し、7拠点の貯蔵庫からPlatioによる「りんご在庫管理アプリ」を介して在庫数の共有をリアルタイムで実現。アプリへの情報入力だけで報告が完了するため、情報転記による入力ミスも撲滅しました。また、アプリ導入により報告から集計までの一連の在庫管理業務において、年間約500時間の工数を削減。出荷先の卸売市場への在庫数報告も約3時間の前倒しが可能になるなど、現場のDXによる業務効率化と顧客満足度の向上を実現しています。



■JA つがる弘前によるユーザーコメント

これまでは翌日の販売在庫数だけを管理していましたが、アプリを活用することにより翌日だけでなくこれまでの販売在庫数がデータとして蓄積されるようになりました。作業員も販売在庫数を手書きする作業や FAX で送る手間から解放され、業務の効率化を実感しています。今回のプロジェクトではとにかく早く低コストでシステム化したいと思っていましたが、初回の相談から 2 か月で本格稼働まで実現でき大変助かりました。また、青果出荷の特徴として前日に出荷量や価格を決めるため非常にタイトなスケジュールで作業していますが、毎日の作業時間が 3 時間も短縮されたことは販売作業の効率化にも貢献しています。今後は実在庫と理論在庫を比較し、より高度な在庫管理を目指していきたいです。

つがる弘前農業協同組合 販売課課長 出雲 正人 氏
施設管理課施設係長 柴田 祥 氏

<Platio による「りんご在庫管理アプリ」画面イメージ>



■ Platio の今後の展開

Platio は独自の業務アプリをわずか 3 日間で作成し運用開始することができることが高く評価され、幅広い業種の企業・団体で採用されています。さらに現場データと既存システムのデータを連携し、より高い次元で情報を活用する「Platio Connect」や、独自ノウハウを元にアプリを作成し顧客に販売が可能な「Platio One」など Platio のラインアップも拡充。業務のアプリ化による業務効率化や、現場の DX に貢献してまいります。

※: ソースコードを書かなくてもソフトウェアやアプリ等の開発ができる仕組み。ノーコードで開発することができる Platio は、プログラミング言語に関する専門的な知識がなくても、必要とする機能の実装や現場の運用に合わせたアプリ仕様の調整等が可能。

<事例掲載 URL : Platio> <https://plat.io/ja/case/ja-tu-hirosaki>

■ 『つがる弘前農業協同組合』について (Web サイト <https://www.ja-tu-hirosaki.jp/>)

2003 年 7 月 1 日、津軽地方 6JA (JA ひろさき、JA 岩木町、JA 藤崎、JA 大鰐町、JA 碓ヶ関村、JA 西目屋村) が合併して誕生しました。青森県内 10JA のひとつであり、津軽のシンボル岩木山の山麓から城下町である弘前市を中心に、生産量日本一の『りんご』をメインに取扱う、地域密着型の農業協同組合です。

■『アステリア株式会社』について（Web サイト <https://jp.asteria.com/>）

アステリアは社会や企業を「つなぐ」エキスパートとして「ソフトウェアで世界をつなぐ」をコンセプトに、ヒト、モノ、オモイを「つなぐ」製品やサービスを提供するソフトウェア開発企業です。基幹製品の ASTERIA Warp は、様々なシステムやクラウドのデータをノーコードで連携できる製品として、1 万社（2023 年 8 月 1 日現在）を超える企業に導入されています。また、デジタルコンテンツプラットフォーム Handbook X は、資料や動画、Web サイトなどあらゆる情報をアプリにまとめて管理できるクラウドサービス。モバイルアプリ作成ツール Platío は誰でも簡単に自社の業務に合ったモバイルアプリをノーコードで作成・活用できるクラウドサービス。AI/IoT プラットフォーム Gravio はノーコードで様々な場所にある多様なデータを集約、活用し情報の一元管理を可能とするノードコンピューティング基盤。これらの製品提供を通じて、DX や業務の効率化を推進しています。また、（一社）ブロックチェーン推進協会、（一社）ノーコード推進協会などの設立に参画するなど、様々なイノベーションを推進し新しいテクノロジーや価値観を普及啓発する活動にも取り組んでいます。

■『Platío』について（Web サイト <https://plat.io/>）

近年の急速な社会情勢の変化と不確実性の中で、企業が新たな競争力を獲得するためには、自己改善の力を発揮して自ら業務を効率化する、自律型の現場組織の醸成が不可欠です。Platío（プラティオ）は、現場の社員が主体的に課題を見つけ、自部門にとって使いやすいモバイルアプリを作成し、業務を改善できるプラットフォームです。それぞれの現場部門の業務に合ったモバイルアプリをノーコードで素早く簡単に作成することで、IT 人材不足やアナログ業務の課題を解決し、組織内の改善モチベーション向上や、自立型の現場組織の醸成を支援します。Platío は 100 種以上の豊富なテンプレートによりプログラミング未経験の現場担当者でも業務アプリを簡単に作成できます。アプリに入力したデータは管理者へリアルタイムに共有されるほか、検知機能により現場の異常をいち早く管理者へ通知できます。複雑かつ高価格になりがちな業務用アプリを、手軽に作れるソリューションであることが評価され、2018 年度には「グッドデザイン賞」を受賞しています。2022 年には、アプリ作成・活用だけでなく、データ連携までをノーコードで実現できる Platío Connect を発売。これにより、現場データと様々なシステムやサービスをシームレスに連携し、データ活用の支援もしています。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR 部：齋藤ひとみ・小出朱莉

TEL: 03-5718-1297 / 携帯電話: 080-2158-2167（小出） / E-mail: press@asteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 マーケティング本部

TEL: 03-5718-1250 / E-mail: platío-pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook、Platío、Gravio はアステリア株式会社の登録商標です。

本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。